

東近江市の業者委託

16万人の情報流出

車上狙い 税算定ディスク盗難

東近江市は27日、市の固定資産税の算定に関する業務委託を受けていた「朝日航洋」(東京都豊島区)の男性社員(35)が、同市内で車上狙いの被害に遭い、約4万5000人分の個人情報などが入ったハードディスクが盗まれた、と発表した。兵庫東加東市など県外のデータも含まれており、流出した個人情報約16万件に上るといふ。

市などによると、26日午後2時ごろ、東近江市内の立体駐車場で、同社の西日本空情支社(大阪府吹田市)に勤務する社員が、業務用の外付けハードディスクなどが入ったかばんを社有車の後部座席に置いて昼食にでかけた。約40分後に戻ったところ、左後部の窓ガラスが割られ、かばんが盗まれているという。

両市のデータもあり、全体で土地データは約90万件、個人情報約16万人分に上るといふ。同社の規定では、車から離れる際、情報が入ったハードディスクは持ち運ぶことになってはいたが、守られていなかった。盗まれたハードディスクのファイルは自由に閲覧できるが、悪用された形跡はないという。東近江市の森基一・市民部長は「業者に情報管理の徹底を求めるとともに、市も管理状況を再確認する」と話している。

土地情報90万件分
ディスク盗まれる

滋賀・東近江

航空写真撮影などの大手「朝日航洋」(本社・東京)の社員が、滋賀県東近江市で車上荒らしに

れたことがわかった。HDには、同社にデータ収集を委託した同市と岐阜県可児市、同県関市、兵庫東加東市の計4市の土地・家屋情報が入力され、土地・家屋の所有者延べ約20万人分の氏名や住所などが記載されていた。滋賀県警が窃盗事件として調べている。

東近江市などによると、盗まれた土地・家屋情報は05年度分で、06年度の固定資産税を算定する基礎データ。社員(35)が26日午後、同市内の駐車場で、車のガラスが割られ、盗まれたという。社員は、同市役所にある情報をHDに移し、大阪府吹田市の支社へ持ち帰る途中だったという。

HDには、東近江市の約28万2千件▽可児市の約18万9千件▽関市の約37万4千件▽加東市の約9万1千件の土地・家屋情報を記載。所有者の氏名や現住所、評価額などが含まれていた。

HDの情報はパスワードなどで保護されていないが、専用ソフトがないと正しく表示されないという。

18.6.28 A